

魅力感じるまちづくりの推進

北馬城まちづくり協議会会長 後藤 文利

令和2年度は異例の中でスタートしました。現下の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ずまちづくり協議会の総会開催を自粛し、取り止めました。大変残念であります。

まちづくり協議会総会は、この一年に取り組む事業計画（案）を代議員はじめ地域の皆様へ直に説明して賛同いただき、みんなで「さあやるぞ」という認識を生む場でもありましたのに諸般の事情から仕方ありません。

新型コロナウイルス感染が収束した暁には、倍返しの意気込みで、まちづくりの「攻め」と「守り」のバランスを図りながら地域の皆様に魅力を感じてもらえる事業を展開します。「攻め」と「守り」の事業展開とは、こんな事を考えています。二・三説明します。

令和2年度の「攻め」では37の事業を取組みます。その中の一つ、今年の1月30日の大分合同新聞に一面を割いて紹介された「宇佐駅～宇佐神宮ぶら～り楽しんで」という見出しで、JR宇佐駅から宇佐神宮まで（片道3キロ）の道を、国道10号線を通らないで自然や名所に触れながらウォーキングする癒しの散歩道を造ると同時に、北馬城の名を高める手立てとして「駅長おすすめJR九州ウォーキング」の指定を目指していきます。

また、北馬城の観光資源の一つに取り上げようとしているのが地域内の神社（10社）境内に建っている鳥居に刻まれた鳥居銘を解説した「北馬城神社鳥居銘しおり」を発行します。

鳥居の成立時のムラの人々の願望が銘に秘められており、先人の往時の息吹が感じ取れ、名跡として広める素地を有しています。

昨年度、まちづくり協議会はドローンを購入しました。このドローンを活用して、北馬城地域の河川、道路等のインフラ点検を適時に実施し、地域の安全・安心に寄与します。

北馬城まちづくり協議会は5年目を迎えました。これまで多くの事業計画に沿って事業を行ってきました。参加者から「参加してよかった」「楽しかった」という励ましの声をいただいたイベントはマンネリに陥らないように知恵を出し、「守り」に入らないように継続していきます。

まちづくりは地域住民一人々の理解ある賛同の「意識」と協調の「和」であります。本年度もよろしく願います。

北馬城の各神社境内に「鳥居銘」看板を建てる

昨年12月、「北馬城の歴史を学ぶ会」で学んだことから端を発し、この度北馬城の各神社に「鳥居銘」看板を建てました。

鳥居に刻まれている銘（漢文）は鳥居の成立時の村人達の願いが込められているという事を学びました。「鳥居銘」看板を読み、私たち集落の先人たちの思いに近づき、今後の集落の有り様を思案するきっかけにして欲しいし、地域の名跡として末永く残していきたい。各神社の紹介は紙面の都合上次号に致します。

本年度、北馬城鳥居巡りも計画しています。

北馬城地区まちづくり協議会新役員の紹介

平成27年10月、北馬城まちづくり協議会設立準備委員会当初から事務局長として、協議会をまとめてこられた松本隆氏が令和2年4月で事務局長を辞められることになりました。4年半の長きにわたり協議会をまとめてこられた功績に感謝申し上げたいと思います。事務局長の交代に伴い令和2年度からの新役員を紹介いたします。

☆北馬城まちづくり協議会副会長

- ・氏名(年齢)： 近藤 一誠 (75歳)
- ・出身地： 金丸区
- ・趣味・特技： 読書・野菜づくり
- ・今後の抱負： 健康に留意しながら生涯学び続ける事



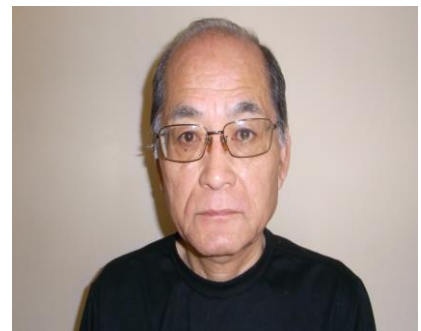
☆北馬城まちづくり協議会事務局長

- ・氏名(年齢)： 岡崎 秀熙 (74歳)
- ・出身地： 岩崎区
- ・趣味・特技： マラソン・弓道・写真(過去に)
ホノルルマラソンをもう一度
- ・今後の抱負： 前事務局長の引いた路線を着実に実行していきたい。



☆北馬城まちづくり協議会事務局次長

- ・氏名(年齢)： 長野 茂 (67歳)
- ・出身地： 岩崎区
- ・趣味・特技： スポーツ観賞・野球・ゴルフ(?)
- ・今後の抱負： ほう(報告)・れん(連絡)・そう(相談)を基本に自分が何をするのがベストか考え頑張りたい。
- ・その他： 学校卒業後、40年ぶりに故郷に帰って来ました。母親が健在なのでこれから親孝行したい。



6月以降のまちづくり協議会事業の推進について

6月に計画していました北馬城地区史跡巡りウォーキング大会は新型コロナウイルス感染予防のため延期とします。またクロダマル物語播種体験は宇佐クロダマル実行委員会で検討中です。九州・大分県では「緊急事態宣言」が解除となりましたが、北海道や韓国のようにいつ第2波が発生するか予断を許さない状況です。当協議会としましても感染予防と事業推進のはざままで悩ましい状況にあります。今後の事業展開については次回の広報紙及びチラシでお知らせいたします。